

2019年度第2回環境科学部環境フィールドスクール「大村湾の里海回帰のあり方を考える」が行われました。

2019年5月25日（土）に、第2回環境科学部環境フィールドスクール「大村湾の里海回帰のあり方を考える」が、日本環境共生学会、長崎県環境保健研究センター、ボーダーレスラウンジ長与のご協力を受け、実施されました。

参加した学生達は、午前、時津町にある崎野自然公園の地先に造成された人工海浜の現地視察、および、長与町にある BORDERLESS LOUNGE（ボーダーレスラウンジ）での地域商社の活動に関する講演を受けました。午後には、日本環境共生学会主催の公開シンポジウムに出席し、大村湾の環境状況（貧酸素水塊の現状等）、磯焼け対策という環境保全とウニ養殖の両立に関する内容、地域商社による活性化に関する内容を聞き、その後、積極的に質疑応答に参加しました。



崎野地先の造成浅場にて説明を受ける学生達